

理 工 学 部 電気電子工学科 のカリキュラム		学科のディプロマポリシー 電気電子工学を対象とし、研究能力や高度の専門性を要する職業に必要な能力を持つ人材の養成を目的としている。 ◎：DP達成に特に重要、○：DP達成に重要、△：DP達成に望ましい										
授業科目名	授業の目的	到達目標	学年	ナンバリングコード	理工学の基礎知識を幅広く理解し、それに応用する能力を身に付ける	外国語によるコミュニケーションスキルを身に付ける	社会人として必要な人間、自然、社会に関する幅広い素養を身に付ける	電気電子工学を学ぶ上で必要な基礎知識を身に付ける	電気電子工学を学ぶ上で必要なスキルを身に付ける	最先端の技術を生かし、電気電子工学に関する新たな手法や方法を提案する能力を身に付ける	課題を提案して実行し、得られた結果を科学的に分析する能力を身に付ける	科学技術の社会的影響力と重要性、及び倫理的責任を理解する
応用線形代数	線形代数の基礎知識を習得し、具体的な意味のあるプログラムを書くことを目標として、C言語プログラミングに必要な技術を身に付ける。	線形代数の復習を行い、新しい概念を導入して線形代数の知識を広げ、理解を深める。また、数値計算の精度向上のために、数値計算の安定性や誤差の伝播について理解し、線形代数の有用性・実用性を理解する。	3年	MAT300XD	○			○				
卒業研究ゼミナール	C言語の基礎知識を習得し、具体的に意味のあるプログラムを書くことを目標として、C言語プログラミングに必要な技術を身に付ける。	プログラミングにおける総合的かつ実践的な知識と技術の習得を目指す。・コンピュータでプログラムが動作するしくみを理解し、説明できること。・C言語で簡単なプログラムを作成・修正することができ、実行することができること。・プログラミングの実践的な知識・技術を習得すること。	1年	COT100XD					○	◎		
プログラミング言語C（電気）	C言語の基礎知識を習得し、具体的に意味のあるプログラムを書くことを目標として、C言語プログラミングに必要な技術を身に付ける。	プログラミングにおける総合的かつ実践的な知識と技術の習得を目指す。・コンピュータでプログラムが動作するしくみを理解し、説明できること。・C言語で簡単なプログラムを作成・修正することができ、実行することができること。・プログラミングの実践的な知識・技術を習得すること。	1年	COT100XD					◎			
電気電子工学入門	電気電子分野における知識や技術が現代社会の中でのどのように活かされているのかを理解し、それぞれの分野における基礎的な知識を習得する。また、各分野の内容と他分野の内容の関連を理解する。	電気電子分野における各分野の概要と他分野の内容の関連を理解し、これからの電気電子工学科での学習計画を立てられるようにする。	1年	ELC100XD				◎				
マイクロ・ナノプロセス工学	半導体デバイス、MEMSデバイス、有機エレクトロニクスデバイスなどを制作するための、結晶成長方法、微細加工技術、積層技術、印刷技術を学ぶ。	微細加工技術を理解し、各種デバイスの作製法を説明できる。	3年	ELC300XD				◎				
伝送回路概論	有線通信および電力伝送を行う電路を分布定数回路として扱うための物理的な基礎およびその数学的取り扱いを学習する。また、二極管の電力増幅、半導体増幅器の三極電流を解析する手段となる対象線路法を理解する。	通信および電力伝送の伝送回路の物理現象を理解でき、その数学的取り扱いができる。	2年	ELC200XD				◎				
基礎数値解析	コンピュータシミュレーションの基礎となる数値計算に必要な数学の理論とアルゴリズムについて学ぶ。	数値計算に必要な数学の理論とアルゴリズムを理解し、演習を通じて基礎的な問題のプログラミングができるようになることを目指す。なお、範囲としては、常微分方程式の数値解法までとする。	2年	MAT200XD				◎				
応用数値解析	数値解析に関する理論を整理し、実社会における数値解析の応用的な活用について学ぶ。	数値解析の基礎から応用まで、プログラム(Python言語)を通じて実装や理論の理解ができる。	3年					◎				
開発ロボティクス	機械学習、深層学習、強化学習などに関して、基礎理論の理解に加えて、実際のソースコードの解釈や演習、研究事例などの解説を交えながら理解を深める。	機械学習、深層学習、強化学習などに関して、基礎理論を理解し、簡単なソースコードの実装が出来るようになること。	3年	ELC300XD				○	◎			